



7月1日から16日まで、市内8地区で「地区別ミーティング」を開催しました。市から今年度の主な事業などを説明し、その後、会場の皆さんから市の施策や地域の課題などについて、多くのご意見・ご提言をいただきました。その主な内容をご紹介します。

市民のみなさんの声を市政に…

【市からの主な事業説明】

大村市一斉伝達システム整備計画について

災害が発生する恐れや災害が発生した場合に、市民の皆さまに危険予知情報や避難情報などを一斉に伝達するシステム（大村市デジタル防災行政同報系無線）の、平成26年度中の運用開始を目指しています。

屋外には屋外拡声子局を設置し、各家庭には戸別受信機（防災ラジオ）を配布して緊急放送を受信できるようにするほか、携帯電話3社と連携し緊急速報メールを配信します。

【各地区からの「ご意見」】

新幹線開通に合わせた観光振興について

新幹線の開通は、大きな観光資源がない大村にとつて大きなチャンスである。人が行つてみようと思ふような魅力ある観光振興について、大村公園や野岳湖の整備などのほか、現段階から新たな構想を練つておくべきだと思う。

また福重地区に予定の車両基地も見学者を対象とした観光資源となりうるため、フルーツの里との連携、郡川に架かる橋、新駅設置などが考えられるほか、従業員の宿舎を市内北部地域に設置し、地域振興に生かしてほしい。

「長崎がんばらんば国体」「長崎がんばらんば大会」の開催について

来年10月に開催される国体において、多くの方々をおもてなしの心でお迎えするため、「花いっぱい運動」を展開します。

花の種類・花づくりハンドブックを始め、花の苗プランター・培養土などを希望者に配布します。団体やサークルでの参加もお待ちしております。

災害時要援護者支援の取り組みについて

災害時などに一人で避難することが難しい高齢者や障がい者を、地域が連携し助け合う取り組みを進めています。

新市立図書館の充実について

新しい図書館をより充実したものにするため、整備検討懇話会の場合だけでなく、幅広く市民の意見を聞き、計画を立ててほしい。ギャラリイを設置してほしいとの声もあるほか、特に利用が多い小・中学生や高校生の意見も十分に取り入れてほしい。

また、現在の年間図書購入費が少ないので、今後、資料収集などの強化を図り、市民の図書貸出数の底上げをしてもらいたい。

野放しとなっている元リサイクル施設について

個人の財産であり、行政が一方的に撤去できないとのことだが、ごみの山となり、強風時にはごみが散乱する状況では、国体のお客さまに対してお

民生委員が対象者宅を戸別訪問し、本人の承諾を得て台帳登録を進めており、市消防署消防団・社会福祉協議会などとの間で情報共有協定を締結するとともに、市と町内会（自主防災組織）との間でも協定の締結を進めています。

※その他の項目

- 市総合防災訓練について
- 自主防災組織結成のお願いについて
- 消防団員募集について
- 行政評価外部評価委員会の公開評価の実施について
- 国民年金保険料の後納制度などについて
- 民生委員 斉改選について
- 新市立図書館整備検討懇話会について
- 第23回参議院議員通常選挙の啓発について

もてなしどころではない。何とか行政のリーダーシップをお願いしたい。

さらに、産廃業者が立地する計画に対し、県に市の意見書を提出する場合は、地域の声を十分に聞いて判断してもらいたい。

広域農道（レインボーロード）の交通安全対策について

広域農道は交通量が多く、JAの集出荷施設が本格稼働になると、さらに増加が懸念される。産直かやせ前の交差点を起点とし発生している渋滞対策は、抜本的な改善が必要である。

また、そこから福重方面へ向かったところの交差点は、子どもたちが安全に渡れないなど危険な状況であるため、信号機の設置をお願いしたい。



学校給食の食器の充実と給食費未納者対策について

給食で使用されている食器は使いにくく、見た目もおいしそうに見えるものではない。新給食センターの完成に合わせて、新しい食器をそろえて、「食育」を推進してもらいたい。
また市内でも給食費の滞納があると聞くので、しつかり対策をとってほしい。

白島の開発について

白島の風景を見ると、将来的に興味がわく場所として利用できないかと思う。橋を架ける、広場を設ける、小動物園や公園で家族連れが過ごせる場所、マリンスポーツのメッカなど、何らかのビジョンを描いてみてはどうか。

災害時の避難場所の確保について

高齢者や障がい者の取り組みにも関係があるが、市が指定する避難場所まで離れていたり、国道を渡らなければならぬなど、不便な場合も多い。
公園のない地域に防災公園を整備し、備蓄倉庫の設置を検討してもらいたいほか、県の施設を避難場所として指定したり、閉鎖された工場跡地を市で買い上げ、地域の避難場所として整備するなどの対策ができないか。

国体の「花いっぱい運動」に、ながさきラベンダーの採用について

パンフレットには、ながさきラベンダーが掲載されているが、これは県立城南高校の生徒が作ったものなので、ぜひ配布する苗に加えてもらいたいとともに、パンフレットには高校名も入れてもらいたい。

道路整備基準の見直しについて

市道以外の生活道路については、市から資材を提供してもらおうなどして個々に補修しているが、損耗の度合いもさまざまであり、高齢化に伴い作業に手が回らない部分も多い。通学路など大切な個所は、交通量などに応じ市道に準じて市が整備するなど、基準の見直しをお願いしたい。

高齢者が利用する公共交通機関の整備について

交通事故防止の観点から、高齢者の運転免許証返納が推奨されているが、山間部ではバスなどの公共交通機関を利用するにも便がなく不便である。路線バス運行が困難ならば、乗合いやデマンドタクシーの導入を検討してほしい。

地籍調査の前倒しについて

市内の地籍調査は、まだ長い期間が必要な計画だが、特に山中などは誰も境界を知らない状況になってしまう。現在2組体制で作業しているのとどこだが、増員して早く進めてほしい。

.....

この他にも、道路・河川・公園の整備に関する要望を始め、教育問題・環境問題などについてもさまざまなご意見をいただきました。これらのご質問やご要望などについての具体的な対応策などは、後日、各住民センターなどからお知らせします。

各会場では、紹介した事例の他にも多くの意見が出されました。皆さんからの貴重なご意見は、できるものから実行対応していきます。

ご参加いただいた皆さん、日中のお忙しい時間、また夜遅くまでありがとうございました。



参加者数

とき	地区	ところ	人数(昨年)
7月1日(月)	大村	市コミセン	57 (52)
2日(火)	竹松	郡コミセン	32 (46)
3日(水)	鈴田※	鈴田住民センター	37 (67)
	福重	福重 //	51 (51)
8日(月)	萱瀬	萱瀬 //	48 (51)
9日(火)	西大村	中地区公民館	84 (97)
10日(水)	松原	松原住民センター	35 (46)
16日(火)	三浦	三浦かんさく会館	39 (78)
合計			383(488)

開催時間:午後7時~9時 ※は午後1時30分~3時30分

■地域げんき課(内線185)